

各地区の危険箇所「記録表」

地区名【 湯の本 】

番号	危険箇所（場所を具体的に）	危険な状況等（視点によって具体的に）	危険箇所の写真
①	用水路 （看板の裏付近） （カーブミラー付近）	柵がないので、近づいたら落ちる危険性が高い。 北新町の児童も通る通学路になっているため、他地区の児童も注意が必要である。	
②	湯の本公民館近くの交差点	T字路がカーブになっていて、見通しが悪い。 道路側にはみ出さないと見えないため、危険である。特に、夕方は見えにくい。 ※ 他地区の人が慣れていないので、特に注意が必要と思われる。	
③	用水路 （服部さん宅から西へ行ったところの右手）	入り口に鉄の棒や鎖があるが、容易に超えて出入りできる。 鎖はかなり高い位置に取り付けてあり、防御の役割はなさない状態である。 大雨の後はかなり水かさが増し、流れも速い。	
④	湯の本住宅側の交差点	四つ角になっていて、止まれの表示はあるが、どの道も狭く出会い頭にぶつかる接触事故が結構おきているようである。 ※ 場所は湯の本だが、北新町の児童も注意が必要である。	
⑤	信楽寺保育園からドラッグイレブンに通じる道路脇	カーブになったところで、ガードレールが切れている。 下をのぞくと、川に降りることができるので危険である。 （H28年度の地区懇談会で出された意見）	
⑥	湯の本運動広場から通じる道路	運動広場から見ると、センターラインが消えている。 周りが暗い時間など、かなり前まで出ないと見通しが悪く、危険である。 （H29年度の地区懇談会で出された意見）	
⑦ ★	「トライアル」ができる付近	出入りする車に注意が必要である。	